

雪害に備えて園芸施設共済

2021年1月の大雪で被害を受けた加入者の
“助かった”を紹介します



横手市 矢野 利文さん(62)
水稲3・5畝、野菜50畝、ソバ30畝

対策するも倒壊 今後に備えさらに強化へ

野菜を栽培する2棟と、育苗用でビニールを被覆していない2棟が潰れてしまいました。

過去の雪害の経験から、支柱や融雪パイプなどで対策していましたが、一気に雪が降り、低温で融雪設備の効果が出ませんでした。

組合に連絡したところ想

像していたよりも手続きが早く進み、雪解け後に再建できて助かりました。

これからも異常気象が頻発すると考え、新築した1棟はパイプの太さを25センチから32センチに変更しました。2間置きに補強材を入れ、冬までに融雪設備も設置し、さらに強化していきます。



湯沢市 (左から)斎藤 祥子さん(49)
拓真さん(23) 洋功さん(57)
トマト(ハウス6棟)、水稲25畝

ビニール未被覆で倒壊も 農業継続の意欲に

トマト栽培と育苗用で合わせて8棟利用しています。冬はビニールを被覆していませんが、昨年末から今年にかけての大雪で180センチほど積もり、全て倒壊しました。

全損の3棟は3月頃に共済金を受け取り、市や県の補助金と合わせて再建するこ

とができました。潰れた当時は「もうだめだ」と思いましたが、共済金のおかげで農業を継続する意欲につながり、助かりました。

これまで補強をしていませんでしたが、支柱を立てて雪に備える予定です。この機会に、冬季の野菜栽培に取り組みたいと考えています。